

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

輝かしい未来に羽ばたく574人 令和2年みどり市成人式

心配された天候もなんとか持ち、令和最初のみどり市成人式が1月12日(日)に笠懸野文化ホールで挙行されました。

今年の新成人は、みどり市が誕生して最初の小学生の年生の人たちで、男子282人、女子292人、合計574人が大人の仲間入りをしました。

「今年の新成人は、みどり市が誕生して最初の小学生の年生の人たちで、男子282人、女子292人、合計574人が大人の仲間入りをしました。」と式辞を述べました。

今年の記念品は、袱紗と星野富弘さんのクリアファイルでした。

各学校の恩師代表による励ましのことばでは、「それぞれの学年の思い出を大切にすることや、これから進む道は楽な道ばかりではないが、目標をもって挑戦してほしい。雨が降るから虹が出る」などメッセージが送られました。

▲ 笠懸中卒業生集合写真



須藤市長は「成人すると社会から見られる目が確実に変わります。これから様々な場面が待ち受けていますが、恐れず、果敢に挑戦してください。志を新たに、目標に突き進んでください。チャレンジ精神を応援してくれ

る人がたくさんいます」と式辞を述べました。今年の記念品は、袱紗と星野富弘さんのクリアファイルでした。

各学校の恩師代表による励ましのことばでは、「それぞれの学年の思い出を大切にすることや、これから進む道は楽な道ばかりではないが、目標をもって挑戦してほしい。雨が降るから虹が出る」などメッセージが送られました。

新成人決意表明では、富井遼平さんが、「何かを人に伝えることの難しさを痛感しています。物事をきちんと理解し、自分の意思や考えを言葉にして発信できるように努め、コミュニケーション力を高めていきます。また、多くの方の支えでこれからも頑張ります。これからも周りの人と支え合いながら胸を張っていきます」と述べました。

また、新成人の答辞では、長谷川ひかりさんが、「こ

(2面へつづく)



▲ 笠懸南中卒業生集合写真



▲ 旧友たちとの再会にスーツや羽織袴でビシッと決めて

のふるさとを誇りとして心に刻み、大切に生きていきます。新成人としての自覚を新たに、責任ある人間として歩んでいきます」と述べました。

新成人に抱負を聞いてみると、「何事にも挑戦していきたい」「就職したので地元で貢献したい」「交通ルールを守り、ゴールド免許を目指す」などと答えてくれました。

式典終了後は、外で写真



▲ 最高の笑顔

寄付のお願い

笠懸公民館では、麻雀牌及び麻雀卓の寄付を募っています。

不要になったものがありましたら、ご協力のほどよろしくお願ひします。

問合せ先 笠懸公民館

TEL 76-2211



を撮ったり、思い出話や近況報告などしたりして、いつまでも話は尽きなかったようでした。
新成人の皆さんには、輝かしい未来に向けて羽ばたいてほしいですね。
おめでとございます



▲ お母さんと一緒におもちつき

「よいしょよ、よいしょよ」の掛け声に合わせて、ペタンペタンとおもちをつつく音が響きます。



もちつき

1月10日(金)、第13回お母さんと一緒教室は、「もちつき大会」をしました。

公民館裏の車庫で行われ、用意された臼の中には、蒸かしたてのもち米が真っ白い湯気をたてていました。

もちをつくのには、公民館職員がお手伝いします。十分にもち米をつぶしたらもちつきの開始です。

「よいしょよ、よいしょよ」の掛け声に合わせて、ペタンペタンとおもちをつつく音が響きます。

お正月気分を楽しむ!!

お母さんと一緒教室

子どもたちも、かわりばんこにお母さんと一緒に杵を握り、楽しくもちつきをしました。つきあがったおもちに、あんこやきなこをまぶしてできあがり。みんなで声をそろえて「いただきます」
自分でついたおもちも、格別おいしかったことでしょう。

たこあげ・かるたとり



1月17日(金)、第14回お母さんと一緒教室は、「お正月あそび」で、たこあげとかるた取りをしました。

7組の親子は、こどものお部屋で干支のねずみのかたちをしたものと、アンパンマンの顔が書いてあるレジ袋に色を塗り、足やひもをつけた2種類のたこを作りました。

パルの芝生広場で、でき



▲ かるたとり どっちが早いかな

あがったたこを手を持った子どもたちは、大喜びでかきまわりました。

たこあげに満足した後は、部屋にもどってかるた取りです。子ども達は靴下をぬいでやる気満々。根岸先生が読み札を読むと、一斉に探し始め、おおにぎわいでした。

取りつこになって泣く子もいましたが、「取れなかったくやしき、取れた喜びで成長するんですよ」と先生からやさしい言葉がかけられました。

最後はお誕生会と山口先生の英語で手遊びをして楽しく過ごしました。

星座つておもしろい!! 移動プラネタリウム

12月24日(火)笠懸公民館で冬休み青少年教室「移動プラネタリウム」が開催されました。

講師は、ぐんまこどもの国児童会館のみなさんです。1回の上映が約30分で3回行われ、1年から6年までの小学生42人が参加しました。



▲ “これからドームの中に入ります”

会場となった交流ホールに空気で膨らませたドームを設置。講師の注意事項を聞いてドーム内に入ります。オリオン座、おおいぬ座



▲ 講師の説明を聞いて星座の勉強

冬の大三角形(シリウス・プロキオン・ベテルギウス)などの星座が映し出されると「わあー、すごい」と歓声が上がりました。

子どもたちは、次々に映し出される星座に興味津々で、講師の説明に耳を傾けていました。また、問いかけにも子どもたちは積極的に答えていました。

参加した子どもたちは、「宇宙に行ってみたい」「いろいろな星座をたくさん勉強したい」など夢は大きく広がったようです。

ていねいに書き上げる 冬休み書道教室

冬休みに入った12月25日(水)、26日(木)の2日間、笠懸町内の小学生を対象に「冬休み書道教室」が、笠懸公民館和室などを会場に行われました。

1日目は練習、2日目に清書を行いました。「習字」は、冬休みの宿題になっているのでキャンセル待ちが出るほどの大人気。数年前から午前、午後の二部制にしました。



▲ 講師の直接指導「ここは集中して」

講師は、笠懸公民館で活

動している「笠懸書道愛好会」のみなさんです。「自分たちが教わったことを地域に役立てたい」という思いから講師を引き受けていただいています。

3年生以上は「習字」で筆のほぐし方や墨のつけ方、名前の書き方など先生にわかりやすく指導してもらい書き上げていきました。

1・2年生は、文字の基本的な書き方を教えてもらい、かきかたフエルトペンでゆっくり丁寧に書いていきました。書き進めるにつれ、めきめき上達するのがわかりました。

最初は「難しい」と言っていた子どもたちも、2日目には自信に満ちた表情でした。

そして、この教室に参加した子どもたちの作品が1月7日(火)から15日(水)まで9日間にわたり、笠懸公民館ふるさとギャラリーに展



▲ 正確に一文字ずつ書いていく

示されました。

笠懸書道愛好会のみなさんによる2日間の指導により書き上げた作品は、どれもびのびと書かれていて、来館者は足を止めて見ていました。



▲ みんなよく書けているね

繰り広げられる熱戦

子ども会上毛かるた大会

■笠懸大会

1月19日(日)、笠懸町子ども会育成会連合会主催「第62回笠懸町子ども会かるた大会」が笠懸公民館で開催されました。

各区から選抜された精鋭が個人戦、団体戦に分かれて優勝を目指して対戦しました。区によっては昨年から何回も練習を重ね本大会に臨んでいるところもありました。



▲ 集中！張り詰めた緊張感

交流ホールでは団体戦が行われ、3人一組でチームを編成。絵札が配られると『つ』があるかないかを確認し、各自の得意な絵札を配置していきます。1分間で配置を記憶後、いよいよ本戦です。

静まり返った会場に読み手の声が響くと、一斉に取り合いが始まります。1枚の絵札に何人もの手が重なります。審判の公正なジャッジは見事でした。

また、和室では個人戦が行われ、一対一の真剣勝負が繰り広げられ、畳をたたく音がいくつもしていました。

本大会では、対戦のはじめと終わりには必ず「礼」をします。かるたをとおして単に技術やスピード、勝ち負けだけを競うのではなく、礼節や感謝のこころを学び、子どもたちの人間形成の一助になっているのだと感じました。

成績上位者は、みどり市



▲ 勝負は一瞬 わずかの差で

大会に出場しました。
※笠懸大会の成績は別表1のとおりです。

■みどり市大会

2月9日(日)、みどり町子ども会育成会連絡協議会主催「第14回みどり市子ども会上毛かるた大会」が笠懸公民館で開催されました。

笠懸、大間々の地区予選の成績上位者による熱戦が繰り広げられ、張り詰めた空気が漂っていました。

対戦が終わったあとの、ホッとした表情が印象的でした。

※みどり市大会の成績は別表2のとおりです。

第62回笠懸町子ども会かるた大会結果 (別表1)

部 門	順 位	チーム名または選手名		
		A	B	
団体の部	小学生低学年	優 勝	9区	9区
		準優勝	2区	7区
		第3位	7区	2区
	小学生高学年	優 勝	9区	6区
		準優勝	6区	7区
		第3位	3区	9区
	中学生	優 勝	7区	/
		準優勝	6区A	
		第3位	6区B	
個人の部	小学生低学年	優 勝	宮崎 奈音 (7区)	中村 愛莉歩 (7区)
		準優勝	大下 陽也 (9区)	田中 泉帆 (6区)
		第3位	高橋 宏翔 (2区)	桑子 夢菜 (3区)
	小学生高学年	優 勝	平山 優実 (6区)	木村 昶琉 (7区)
		準優勝	小池 隼平 (7区)	細野 琴葉 (9区)
		第3位	真下 愛琉 (9区)	倉澤 宗詩 (2区)
	中学生	優 勝	家住 胡春 (6区)	/
		準優勝	福島 檜 (9区)	
		第3位	金山 桃子 (9区)	

第14回みどり市子ども会上毛かるた大会結果 (別表2)

部 門	順 位	チーム名または選手名	
団体の部	小学生低学年	優 勝	◎笠懸 9区A
		準優勝	笠懸 9区B
		第3位	大間々 7区
	小学生高学年	優 勝	◎笠懸 6区
		準優勝	笠懸 9区
		第3位	大間々 2区
	中学生	優 勝	◎笠懸 7区
		準優勝	笠懸 6区B
		第3位	笠懸 6区A
個人の部	小学生低学年	優 勝	◎中村 愛莉歩 (7区)
		準優勝	大下 陽也 (9区)
		第3位	宮崎 奈音 (7区)
	小学生高学年	優 勝	◎平山 優実 (6区)
		準優勝	木村 昶琉 (7区)
		第3位	小池 隼平 (7区)
	中学生	優 勝	◎金山 桃子 (9区)
		準優勝	家住 胡春 (6区)
		第3位	今泉 空 (7区)

◎印については群馬県大会に出場 ※県大会では、個人戦小学生高学年の部で6位入賞

(敬称略)

さらなる飛躍に向けて

新年賀詞交歓会

穏やかな光に包まれ新しい年が始まった1月6日(月)恒例となっている「みどり市新年賀詞交歓会」が笠懸公民館で開催されました。

国や県の機関、国會議員、県議會議員、みどり市議會議員をはじめ警察、消防、地元企業などから大勢の人が参加しました。

須藤市長は「昨年、みどモスがゆるキャラグランプリに出場し14位になったことへの感謝。また、群馬県がDC(ディスプレイネーシ



▲ 新年のあいさつをする須藤市長

ョンキャンペーン)の対象となったこと及び、東京パラリンピックでホストタウンとして香港選手を受け入れ交流を図ることにより、みどり市を国内外にアピールしていきたい」とあいさつしました。

その後、井野俊郎衆議院議員、清水真人参議院議員、今泉健司県議會議員が新年のあいさつをしました。

大澤映男みどり市議會議長による乾杯後は、会場のおちこちで、新年のあいさつが交わされていました。

会場には、観光大使の富所哲平さん(アンカンミンカン)や横塚沙弥加さんをはじめ、みどモスが登場したり、アトラクション(大道芸)やみどり市ブランドのコーナーが設置されたりして賑やかな新年の顔合わせとなりました。その中を琴の落ち着いた音色が優雅に流れていました。

社会教育行政や公民館運営にあなたの意見を！ みどり市社会教育委員、公民館運営審議会委員を募集します

みどり市教育委員会では、社会教育行政に対して、市民の幅広い意見を反映させ、教育委員会からの諮問に意見を述べる「みどり市社会教育委員」と、公民館の運営や各種事業の企画実施について審議する「みどり市公民館運営審議会委員」を公募します。

▼募集人数 社会教育委員(社教委)、公民館運営審議会委員(公運審委員)ともに2人程度

▼応募資格 次の①～④のすべてに該当する人

- ① 市内在住の者(共通)
- ② 令和2年4月1日現在、年齢20歳以上の人(共通)
- ③ みどり市の他の審議会などの委員でない人(共通)
- ④ 会議に出席できる人(年間各6回程度。社教委は平日昼間、公運審は平日夜間に開催)

▼職務内容

- 【社教委】
 - ・社会教育に関し教育委員会に助言するために、社会教育に関する諸計画を立案すること、会議を開催し教育委員会の諮問に応じること、必要な調査研究を行うこと。
 - ・教育委員会議に出席して社会教育に関する意見を述べることができる。
- 【公運審】
 - ・館長の諮問に応じ、公民館での各種事業の企画実施について調査審議する。
 - ・公民館の管理、運営及び事業に関し、独自に立案建議すること。

▼任期 2年

▼報酬 市の報酬費用弁償支給条例に基づき、お支払いします。

▼申込方法 以下の書類を持参・郵送・ファックスまたはE-mailにより提出ください。

- ① 希望される委員の「申込書」
- ② 希望される委員の「応募動機について」の作文(様式自由、400字～800字程度) ※提出された書類は返却しません。

▼受付期間 3月17日(火)～4月15日(水)

応募申込書配布と同じ窓口で受け付けます。

〈持参の場合〉午前8時30分から午後5時15分まで。

〈郵送などの場合〉4月15日(水)必着をお願いいたします。

▼応募申込書配布場所 受付期間中に下記の場所で配布します。

- ・社会教育課(教育庁舎内) 月曜～金曜
 - ・笠懸公民館、多世代交流館、東公民館 火曜～日曜
- ※ 市のホームページからもダウンロードできます。

▼選考結果 本人に直接通知します。

▼問い合わせ先

【社会教育委員】

みどり市教育委員会事務局社会教育課(教育庁舎内)

〒376-0101 みどり市大間々町大間々235-6

TEL 0277-76-9846(直通)、FAX 0277-76-1954

E-mail shakai-k@city.midori.gunma.jp

【公民館運営審議会委員】

みどり市笠懸公民館 〒379-2311 みどり市笠懸町阿左美158-1

TEL 0277-76-2211、FAX 0277-76-2836

E-mail kouminkan@city.midori.gunma.jp

地域からのたより

筆を走らす

五区書道教室

笠懸町第五区では、12月29日(日)書道教室を開催し、五区公民館を会場に区内の3～6年生の小学生14人が参加し、冬休みの宿題に臨みました。



▲ 一文字ずつしっかりと

昨年、一昨年は、笠懸公民館と五区地区公民館の共催で地区申請学級として開催しましたが、本年より五区の単独事業となりました。

講師も、地区申請学級時に指導した地元の久保塚みどりさんが務めました。

参加した小学生は、学年ごとに出された課題を、一文字一文字練習していきます。講師にポイントを聞いたり、講師が手をとってじっくりと書いたりしていきます。会場のホールには「先生！」「先生!!」と呼ぶ声が飛び交っていました。

講師は、「漢字は大きく、ひらがなは小さく」「バランスに気をつける」などの確なアドバイスをしていました。

休憩時間には、お菓子を食べながら友だち同士で楽しくおしゃべりしていました。

参加者は「たのしい」「うまく書けた」など感想を言っていました。

休憩が終わると、再び半紙に筆を走らせる真剣な眼差しの子どもの姿がありました。

集中して

六区書道教室

笠懸町第六区地区公民館主催の書き初め教室が1月4日(土)、六区公民館ホールで開催され、区内の3～6年生の小学生30人が参加しました。

地区公民館長・主事はじめ育成会役員などが朝早くから、ホール一面に新聞紙を敷き詰めて会場の準備をしました。

世代を超えた交流

一区正月行事

笠懸町第二区の恒例行事となっている「書き初め教室・餅つき・繭玉づくり」が1月5日(日)二区公民館で行われました。

子どもたちは、冬休みの宿題にもなっている書き初めを、地元講師の指導を受けながら真剣に書き上げていました。

それが終わると「繭玉づくり」です。子どもたちは

子どもたちが集まり、一人ひとり冬休みの宿題を仕上げていきます。講師の川合明さん、久保田織衣さんの2名が、小学生が書いた文字に朱色で修正していきます。その文字を見ながら子どもたちは、筆を走らせます。

半紙や墨汁が用意されていたので、子どもたちは失敗しても安心して何回も書くことができます。

書道を通して、子どもたちへの学習支援が、地域の

老人会の方々に教えてもらい、楽しそうにおしゃべりしながら繭玉を丸めて木の枝にさしていきました。子どもからの「繭玉って何？お蚕って？」という質問に、大人がわかりやすく説明していました。

外では餅つきも始まりました。つきたての餅や豚汁がふるまわれ、みなさん笑顔でほおばっていました。

新年のあいさつが交わされ、世代を超えたほのぼのとした光景でした。

昔からの伝統が少しずつ



▲ 集中して何度も書いていきます

中で行われていることが感じられました。書き上げた作品は、公民館のホールに展示されました。

薄れつつあるなか、これからもぜひ続けていってほしいですね。



▲ 繭玉の作りをとおしての交流

笠懸公民館報編集協力員 大募集

「かさかけ公民館だより」を一緒に作りませんか!

笠懸公民館では、公民館活動をはじめとする学習情報や地域の身近な情報を発信し、市民の学習文化活動や地域づくりに役立てるため、公民館報を発行しています。

市民の声の広場として、市民の目線から地域の情報が豊かな館報を作るため、下記のとおり編集協力員を募集します。

- ◆ 募集人数 15人
- ◆ 応募資格 みどり市在住・在勤で月3回の会議への参加(主に夜間)や編集作業(取材・記事の執筆、校正など)が可能な方。※経験は問いません。
- ◆ 内容 笠懸公民館報の企画・編集、会議、取材・記事の執筆など
- ◆ 任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日
- ◆ 申込期限 令和2年3月27日(金)

令和2・3年度市民講座 運営委員募集!

私たちとともに運営に協力してくれる “仲間” を募集しています



笠懸公民館では、市民のみなさんの自由な学習・豊かな生活を支援するために市民講座を開催しています。この講座は、自ら学び、学習の輪がさらに広がることを期待して、運営委員により企画から開催までを行っています。

- ◆ 募集要項 ◆
- 募集人員 20人
 - 任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日
 - 応募資格 みどり市在住・在勤の方
 - 申込期限 令和2年3月27日(金)

市民講座運営委員とは...

- ・市民講座の企画・運営
- ・文化祭への模擬店参加
- ※運営委員の報酬はありません。
- ※会議は月1回程度(夜間)

笠懸公民館報編集協力員及び市民講座運営委員の問合せ・申込は、笠懸公民館まで
TEL : 0277-76-2211 FAX : 0277-76-2836

くすねの ひるば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

投稿

今月の一首(9) 風鈴

春の苑 紅にほふ 桃の花
下照る道に 出で立つ娘

(19・四二二九 大伴家持)

《訳》春の苑の、紅に咲いている桃の花のもと、道に

ただずんでいる乙女よ。

《解説》万葉集に詠まれる

「くすね」のほととどの例は、「照り映える」という視覚的な意味です。嗅覚、香をいう例は「橘の にほへる香かも ほととぎす 鳴く夜の雨に うつろひぬらむ」(17・三九一六)のよう。これを「とめ」は、適齢期の若い女のこと。

この歌は、天平勝宝(七五〇)年三月一日、三十三

歳頃の家持が、越中(富山県)で読んだものです。

このころ妻坂上大嬢(さかのつえ)のおおいらつめが奈良から越中に向かったらしく、家持の三年半あまりに及んだ単身赴任の生活も終止符を打ちます。歌に華やぎが見られるのも、そのことによるのでしょう。

『万葉集一日一首』
花井しおり編

(致知出版社刊)より

《感想》桃の花の美しさとそれを見る娘子に見惚れてしまいます。いつの世も：

四季の会 一月句会



髪を染め夫と犬連れ初詣
正月や五匹の猫にフルコース
大鍋の雑煮なつかし昭和かな
庭に咲く水仙供へ茶を啜る
金箔を散らせし腕の雑煮喰ふ
社堂マスクの巫女と擦れ違ふ
侘助の絞り一輪とこの間に
大きくさめ猫も飛び出すベッドかな
日帰りの旅行の準備みぞれ降る
あんこふの大鍋で炊く新年会
吾よりも若き父母初の夢
犬の靴はかせ散歩や寒に入る
娘のみやげ冬野菜掘る爺と婆
初詣オービスに捕まる帰り道
若狭湾つづらの路や野水仙
成人式孫の晴れ着に感無量
渡良瀬の溪谷列車雪の中
飼猫にそっぽ向かるマスクかな
飲み過ぎのなまはげ祝言述べもせず
残り糸あつめマフラー編む日向
寒ぼたん僧の一喝ひびきをり
俳号は狐一と名告り初句会
夫の愚痴言ひ放題や女正月
着脹れの自転車飛ばす女子高生
底冷えや病室に鳴る置時計
なすな粥うすめの味で百六歳
雪また雪の草津温泉ゆきの中
白菜の尻見せ売らる道の駅
初暦予定を入れる事も無く
賽銭の頭上とぶ飛ぶ初詣
産土神に無病息災初詣
湖風の冷たき宿や梅ひらく
つまかはの濡るる足もと初句会

佐藤 小春
東宮 春水
川岸 星漢
津久井 友禅
富士山 鬼翔
多田冬 薔薇
小林 華笑
韓 百日紅
吉田 和義
裾沢 春蘭
富田 和
村田 紅蘭
遠藤 龍
新羅 光海
金井 漢江
村田 小町
真下 山月
糸井 梅光
童 鳥海
金井 光順
久保 初風
小林 狐一
今井 稔
糸井 初音
徳田 夕子
須田 仙寿
小比木 和音
横倉 雅
山本 草秋
冠 二郎
石原 青蓮
宇野 勘大
金 光月

投稿

テクテクお城歩き(11)

「白河小峰城」 歩遊人

福島県の白河小峰城は日本100名城のひとつ。

JR東北本線の白河駅のホームに立てば櫓が見える。陸奥の関門として古くから館が築かれ、江戸期に入る

と丹羽長重が10万石の居城にふさわしい城郭を築いたといえます。



▲ 白河小峰城の天守閣

笠懸短歌サークル 一月例会より



網かけて椋鳥より守りし南天を正月飾りに福と活け込む
赤城嶺は雪雲おほひからつ風吹きしまく野良はおびゆる寒波
息と孫と元日の朝仰ぎ見るオリオン星座は輝き増しぬ
仏壇に向かひて恋の歌うたふ覚えて浅き「女の港」
立てもせぬ幼囲みてやれ笑みし真似せし跳ねしと半日飽かず
断捨離は新陳代謝少しだけ出来た隙間は張り合ひとなる

上村 征子
橋内 文夫
久保田茂子
近藤ふさ子
関口 定夫
平山 勇

「T」豆電球



「なぜ、郵便マークは「T」なのか？」

郵便マークの「T」が制定されたのは、明治20年のこと。郵政省の前身である逓信省の「テ」の字を図案化したものである。しかし、当初、逓信省が考えていたマークは「T」ではなかった。明治とい

うのはもっとハイカラな時代で、逓信省の頭文字をとってアルファベットの「T」を予定していたのである。ところが、海外郵便を扱う際に、困った事実が判明した。「T」というマークは、郵便料金の不足を表す万国共通のマークだったのである。もちろん、郵便料金不足マークを一国の郵便マークなどに使用できるはずがない。そこで、急遽、考案されたのが「T」というマークだった。今ではパソコンで郵便と打つと郵便マークが出てくるが、「T」マーク案が通っていたら、「T」がでてきたのだろうか。いずれにしても、見慣れていることもあるが郵便マークはシンプルで整った「T」がしっくりくるものだ。

ちよつと一息



みどり市いじめ防止こども会議を取材した。課題はSNSのマナー。どのグループの子どもたちも共通して『相手の気持ちや考えを尊重すること』が課題解決の原点と結論付けたように感じた。会議の講評で、主催者代表は「技術革新で世の中が急速に便利になっていく。これは、悪用しようとする者にも便利になっていくこと」と喝破された。同感である。

考えてみれば、人の心には、天使と悪魔が同居している。例えば『より社会に役立つこと』を優先する心と『自己の欲望の充足』を優先する心もそのひとつ。前者は社会の結束と繁栄を促すが、後者は社会の分断と衰退を加速する。

技術や社会の進化を判断する力には、社会の文脈やその背景を深く観察する能力が欠かせないと思う。天使の心で社会を俯瞰、その是非を判断すること、両者のバランスをとることが、生きていく上に欠かせない時代が始まったように感じている。(傍目三目)